

ロジックモデル

		現状と課題	番号	A 個別施策
医師等の確保		<p>へき地では、高齢化と人口減少を背景に、地元での人材確保が困難な状況であり、へき地医療を担う医師等の育成と、安定的な確保が必要</p> <p>①「へき地医療に関与している医療機関が行政に期待する支援・施策」としては、「医師の確保」、「巡回バス等交通手段の充実」、「看護師の確保」の回答数が多い</p> <p>⇒医師や看護師等の確保及び交通手段の確保が課題</p> <p>②県内には9か所のへき地診療所が設置され、うち6か所に自治医科大学卒業医師を派遣</p> <p>⇒自治医科大学卒業医師の効果的な配置調整や代診医派遣等の支援が必要</p> <p>③患者の全身の状態を踏まえ、必要に応じて専門医につなぐことのできる体制整備が必要</p> <p>⇒地域医療の担い手としての総合診療医の育成が必要</p>	1	<p>(1)自治医科大学卒業医師の派遣</p> <p>(2)地域医療を担う医師の養成と確保</p> <p>(3)へき地医療を担う医師の動機付け</p> <p>(4)看護職員の確保と資質向上</p>
		<p>高齢化が進むへき地にあつては、生活習慣病予防や高齢者の健康管理が地域の健康維持に大きく寄与しているため、保健指導体制の充実が重要</p> <p>①無医地区等においては、市町村保健師や郡市医師会が情報共有等を行いながら、地区の状況を踏まえた保健指導を提供することが必要</p> <p>②治療だけでなく予防の重要性が増し、保健指導の内容も多岐にわたってきていることから、保健師等の人材の確保とともに、資質の向上も必要</p>	2	<p>(1)へき地における保健指導の支援</p> <p>(2)保健師等の確保及び資質向上に係る支援</p>
		<p>へき地では、身近な医療機関が不足している上、交通機関も少ないため、容易に医療機関を利用できない状況にあることから、住民が必要な医療を安心して受けられる医療提供体制の確保が必要</p> <p>①へき地では、へき地診療所を設置運営するほか、在宅の高齢者等を対象とした訪問診療等を行い、住民が医療を受ける機会を確保</p> <p>②へき地診療所において、へき地の住民に対し必要な医療サービスを継続して提供できる体制を構築するため、医療機器等の整備が必要</p> <p>③へき地では、医療機関までの移動に相当の時間を要する地域が存在するなどの問題が生じており、住民の医療機関へのアクセスの確保が必要</p> <p>④へき地が所在する市町村では65歳以上人口の割合が高い傾向にあり、寝たきりの高齢者等への在宅医療の提供や看取りが可能な体制の整備が必要</p> <p>⑤関係機関の連携の下、住民が住み慣れた地域で医療等の提供を受けられるよう、地域包括ケアシステムの構築が課題</p> <p>⑥へき地では高齢化率が高く、通院困難者のみならず、介護を必要とする高齢者も増えており、訪問歯科診療や誤嚥性肺炎予防のための口腔ケア等が重要</p>	3	<p>(1)へき地診療所の施設・整備の充実</p> <p>(2)医療機関へのアクセスの確保</p> <p>(3)在宅医療等の提供体制の充実</p> <p>(4)へき地における歯科医療提供体制の充実</p>
		<p>へき地では医療資源が不足しているため、診療を支援する医療機関の医療機能の維持・充実に加えて、広域的な連携により、24時間365日急患や重篤な患者に対応できる医療提供体制の充実が必要である他、オンライン診療を含む遠隔医療を活用したへき地医療支援も求められている。</p> <p>①へき地医療拠点病院は、無医地区等において、群馬県へき地医療支援機構の指導・調整の下に、巡回診療、へき地診療所等への医師派遣や代診医派遣等を実施</p> <p>⇒これらの拠点病院の医療機能の維持・充実が必要</p> <p>②へき地保健医療政策の中心的機関として、へき地医療支援機構が、へき地診療所等への代診医派遣調整等広域的なへき地医療支援事業の企画・調整等を実施</p> <p>③県内の医療機関による「へき地医療機関を支援できる医療機関に期待する機能」としては、「医師の派遣」、「救急患者受け入れ体制の充実」の回答数が多い</p> <p>⇒医師の派遣やへき地の医療機関では対応が困難な救急患者等の受入体制、ドクターヘリの活用や救急車による搬送体制の充実が必要</p>	4	<p>(1)へき地医療拠点病院による支援</p> <p>(2)へき地医療支援機構による支援</p> <p>(3)救急患者等の搬送体制等の充実</p>

番号 **B 目標**

1	無医地区等のへき地医療を担う医師及び看護師等を確保すること	
	目標値	へき地診療所への自治医大卒業医師派遣応需率 へき地における学生を対象としたセミナー・実習の実施回数

2	無医地区等において、保健指導を提供すること	
	目標値	へき地医療従事者研修の実施回数

3	無医地区等において、地域住民の医療を確保すること	
	目標値	へき地診療所における通院から訪問診療への切り替え患者の応需率

4	へき地において、広域的な連携により24時間365日急患や重篤な患者に対応できる医療提供体制を充実すること	
	目標値	へき地医療拠点病院からへき地への巡回診療応需率 代診医師派遣要請に対する応需率

番号 **C 最終目標**

1	へき地医療の医療連携体制構築	
	目標値	へき地診療所への自治医科大学卒業医師の派遣者数
	目標値	へき地における群馬大学医学部地域医療卒卒業医師の勤務者数

2	へき地における医療提供の支援	
	目標値	へき地医療拠点病院からへき地への巡回診療実施回数
	目標値	へき地診療所における訪問診療、往診の実施回数